

③小松小学校区はぐくみネット

「小松わくわく教室」日時：平成23年1月22日（土）9:00～12:00

《取り組みの概要》

学校公開として、前年度から取り組まれており、地域の方による木工教室や昔遊び教室、校区内で活動する劇団による人形劇やオペラ、保護者による英語・スリランカ教室やハングル教室、地元企業による化粧品づくりやセラミックス・プラスチック教室など、18教室を開催されています。

子どもたちは学年やクラスごとに1～3限目にそれぞれ決められた教室に参加。保護者や地域の方は自由に教室を巡回することができます。

《見学交流会当日の様子》

化粧品づくり教室では、地元企業の方から、化粧品は“水”と“油”を界面活性剤という薬品を使って混ぜたものであるということなど、基本的な事柄について学んだあとに実際にテーブルごとに薬品を混ぜていき、実際に化粧水をつくる実験を行っていました。



化粧水、うまく作れたかな？



プラスチックの奥深さに驚嘆！

セラミックス・プラスチック教室でも、地元企業の方が講師となつて、研磨前のセラミックスに模様を彫りこむアクセサリーづくりや、強度などを測定する実験などを通して5種類のプラスチックの違いを学ぶ授業が開催されていました。いずれも従業員のの方が各テーブルに一人ずつつき、子どもたちと交流しながら丁寧に指導していました。

その他にも、楽団教室、人形劇教室では、本格的なオペラ歌手の歌声や人形劇を鑑賞でき、けん玉教室、ジャグリング教室では、教室中でけん玉やジャグリングの玉が飛び交うなど、多彩な教室が展開されており、どの教室でも、子どもたちが真剣に、かつ笑顔で楽しみながら学んでいる姿がとても印象的でした。



本格的な人形劇を鑑賞



牛乳パックで卓上ホウキとチリトリを作りました。



みんなけん玉に熱中！

イベント終了後、スタッフの方々から運営の舞台裏についておうかがいしました。

講師をつとめる企業とは、普段から登校時に従業員の方々が見守り活動に立たれていたり、工場のグラウンドで地域のお祭りを行ったりなど、長年にわたって地域・学校とさまざまな連携を進めておられるとのことでした。

また、元から地域内に豊かな経験や知識をお持ちで、子どもたちにそれを伝えたいと思われていた方が多くおられたこと。また、地域の高齢者からは、子どもたちと交流ができる場を作って欲しいとお話があったことなどから、このイベントを企画することにしたとのことでした。見学交流会の参加者からは、講師をどのように見つけてきたのかなど、具体的な質問が多く寄せられました。また、実施後のアンケートでも「数教室からでもはじめてみたい」という声があるなど、大いに刺激になる取り組みであったようでした。